

## 件名：イカ釣り漁況情報

隠岐海峡周辺及び対馬周辺海域でスルメイカのまとまった漁獲（20本入り主体）があがっております。直近の各イカ釣り漁船（19t 又は 9t 船）より頂いている操業記録を以下のとおりとりまとめました。

（操業記録）

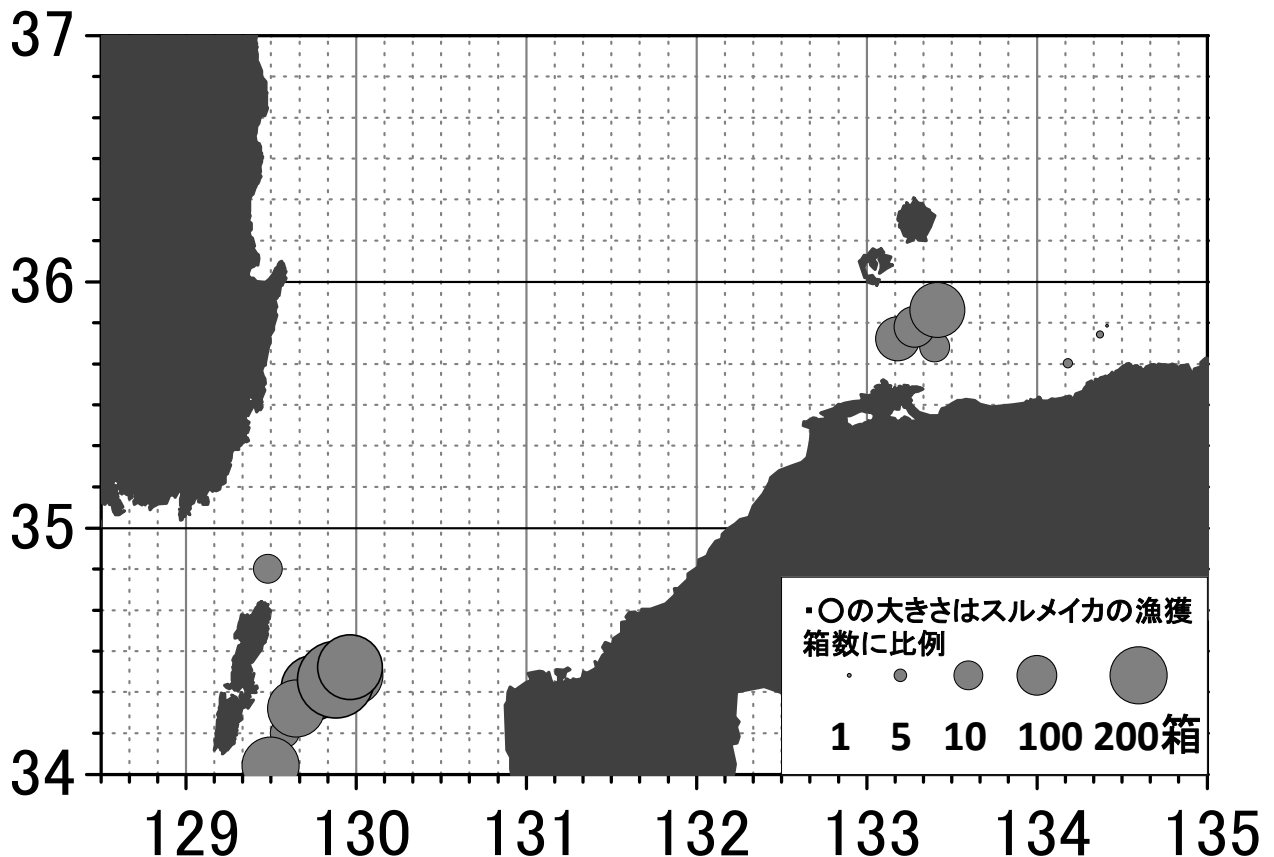
### 【隠岐海峡周辺】

調査日	隻数	合計箱数 (1隻当たり最高)	箱数の割合(%)					バラ
			20本入り	25本入り	30本入り	40本入り	50本入り	
1月10日	1	81	0%	52%	48%	0%	0%	0%
1月11日	1	188	1%	66%	33%	0%	0%	0%
1月13日	3	180(166)	88%	9%	1%	1%	0%	2%
1月14日	1	1	100%	0%	0%	0%	0%	0%
1月17日	1	64	100%	0%	0%	0%	0%	0%
1月20日	1	295	95%	5%	0%	0%	0%	0%

### 【対馬周辺】

調査日	隻数	合計箱数 (1隻当たり最高)	箱数の割合(%)					バラ
			20本入り	25本入り	30本入り	40本入り	50本入り	
1月10日	3	288(115)	100%	0%	0%	0%	0%	0%
1月12日	3	306(130)	100%	0%	0%	0%	0%	0%
1月15日	1	80	99%	1%	0%	0%	0%	0%
1月17日	1	312	98%	2%	0%	0%	0%	0%
1月18日	3	369	43%	38%	19%	0%	0%	0%
1月19日	3	1043(394)	31%	34%	35%	0%	0%	0%
1月20日	1	548	5%	72%	22%	0%	0%	0%
1月21日	1	395	4%	68%	28%	0%	0%	0%

（漁場位置図）



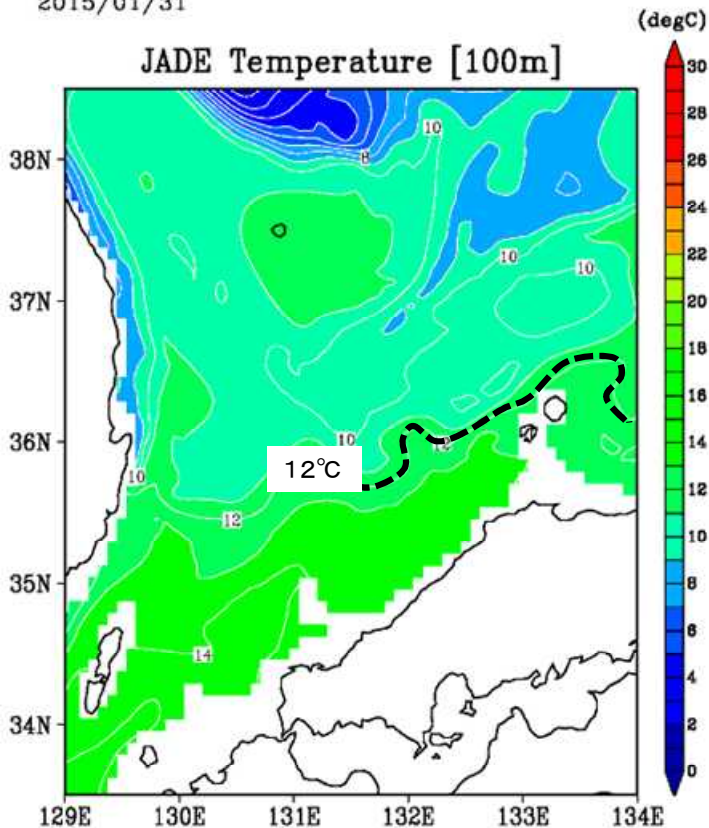
〔状況〕

- ・境漁港では20入り主体で1月20日に1550箱（6隻合計）、21日に1890箱（9隻合計）、22日に1430（8隻合計）の水揚げがありました。
- ・対馬東側の海域でも漁場が形成されており、1隻当たり500箱以上の漁獲がある日もあり、スルメイカの主産卵場となる対馬周辺海域にスルメイカの南下回遊が随時続いているものと考えられます。
- ・鳥取東部では1月13日に11箱のヤリイカの水揚げがありました。
- ・今後も山陰沖では水温の低下が例年並みに進むと予想されますが、スルメイカの生息が可能な水温は約12℃以上であると考えられており、山陰沖では今後も12℃以上の海水温となることが予想されるため、引き続きスルメイカの漁場が沿岸域に形成されやすい状況が続いていくものと考えられます。

〔参考〕

日本海西部の水深100mの水温モデル

2015/01/31



鳥取県水産試験場 海洋資源室  
研究員 藤原 大吾  
TEL : 0859-45-4500  
FAX : 0859-45-5222